



自治体編（岡山県備前保健所）

地域住民と共に進める

自治体（岡山県備前保健所） 地域住民と共に進める



基礎情報（令和8年3月1日時点）

総人口 186,662人（令和7年1月1日時点）
※備前保健所管轄内人口（備前市、赤磐市、玉野市、瀬戸内市、和気町、吉備中央町）
※住民基本台帳に基づく人口より

担当所管課 岡山県備前保健所保健課地域保健班

取り組み開始年 令和7年度

URL <https://www.pref.okayama.jp/page/1008652.html>

取り組みの全体像

- ・普及啓発資材（パネル・リーフレット）の作成
- ・**愛育委員※1と共にパネルを活用した中高生に対する普及啓発**

※1：「母子保健を中心とした公衆衛生の向上を図る」ために結成された地域の健康ボランティア組織
備前保健所管内愛育委員連合会の事務局を岡山県備前保健所が担っている

- ・予算：備前保健所管内愛育委員連合会活動費

経緯

- ・赤ちゃん登校日※2（思春期赤ちゃんふれあい体験）の事業を通して、愛育委員より「地域子ども達に性や妊娠に関する正しい知識を持って欲しい」等の声があげられたものの、普及啓発資材等がなかったことを踏まえ、保健所と愛育委員等とが協働した取組を開始

※2：地域の赤ちゃんと親、愛育委員等が中高の学校に登校（訪問）し、中高生が赤ちゃんと直接ふれあい、命の尊さや自分の体と心を大切にすることを考える活動

愛育委員は長年、地域で健康づくり活動を推進しており、日ごろから地域や中学校と関わりがあることが強み！

PICKUP

愛育委員と共にパネルを活用した中高生に対する普及啓発を実施（令和7年度～）

パネルの作成

- ・保健所と愛育委員が協働し、専門家に監修を仰ぎ7枚のパネルを作成

パネルの工夫点

- ・男性も、女性も自分たちの生と性を学び、「自分事」として日々の生活や健康と向き合い、健康管理ができるような観点を盛り込む

パネルでの啓発

- ・パネル説明にあたり、当日にどの内容を説明するか、事前に学校と細やかに調整
- ・赤ちゃん登校日（中学生）や性教育出前講座（高校生）の開催時にパネルを説明
- ・生徒への事後アンケートの実施

自治体（岡山県備前保健所） 地域住民と共に進める



特に、男子生徒は、「男性のからだ編」のパネル前で立ち止まる様子あり！

パネルの内容※3

プレコンとは何か、プレコンの必要性
食事、適正体重、運動、ストレス、睡眠
禁煙・飲酒、口腔管理、子宮頸がん、風しん、性感染症
思春期の体の変化、相談の目安
女性のからだ編（月経に関するトラブル）
男性のからだ編（性交等に関するトラブル・不妊のリスク）
妊娠のプロセス、妊よう性、葉酸、不妊症・不育症
避妊法、人工妊娠中絶、デートDV・性的同意、県内の相談先

効果

- ・令和7年度は、中学校7校（3年生）、高等学校1校（2年生）の計411名に実施し、9割以上の生徒が「プレコンセプションケアについて聞いたことがなかった」中で、8割以上の生徒が「プレコンセプションケアを理解できた」と回答
- ・特に、「プレコンとは何か、プレコンの必要性」、「食事、適正体重、運動、ストレス、睡眠」、「男性のからだ編（性交等に関するトラブル・不妊のリスク）」への関心が高いことも明らかとなった
- ・保健師等の専門職のみならず、愛育委員が地域の様々な機会啓発を行うきっかけとなり、より活発な地域活動につながった
- ・愛育委員からも「啓発は何回も繰り返して実施することが大切と感じ、様々な機会啓発したい」、「パネルやリーフレットがあることで啓発しやすくなり、地区活動のなかでも啓発できた」と意見があった

今後の目標・展望

- ・愛育委員がよりプレコンセプションケアの理解を深め、啓発活動が行えるよう、ポイントを学ぶ研修等の開催
- ・中高生の意見を踏まえた、より効果的な資料のブラッシュアップの実施
- ・効果的な啓発に向けた、学校等との事前学習等の活用及び生徒への配慮に係る検討
- ・プレコンセプションケアの啓発パネルを他保健所・支所に横展開した効果の評価

市町村との連携や役割分担も必須！
保健所は管内市町村で活用できるツールを作成し、市町村は地域や学校と連携し、実際のツールの活用者となる

